アフガニスタン
戦禍からの再生・希望への架け橋

認定特定非営利活動法人　カレーズの会　理事長
レシャード医院　院長

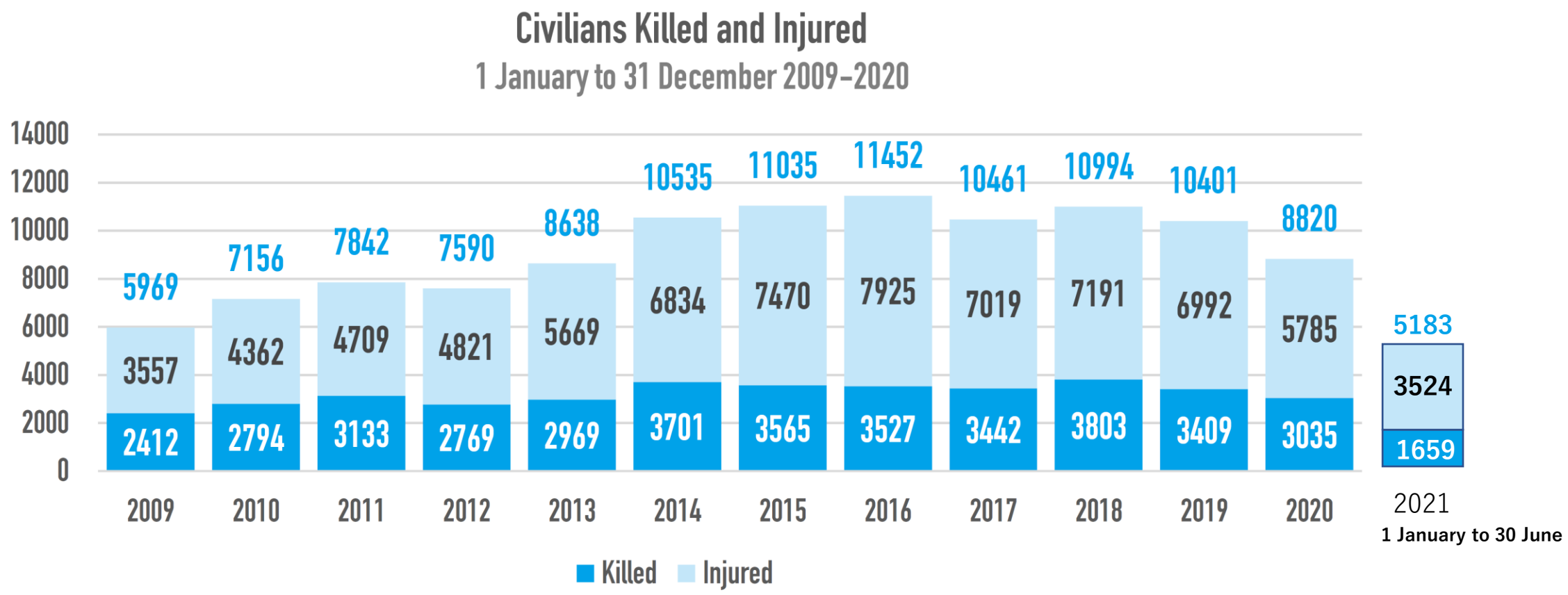
レシャード　カレッド

2023.7.27　日本WHO協会セミナー　関西グローバルヘルスの集い　第7弾

アフガニスタン・近代の歴史

1979	ソ連軍の侵攻（欧米の支援でムジャヒディンを訓練し、抵抗させる）
1989	ソ連軍完全撤退　⇒ソ連の崩壊を招く
2001	9.11米国の同時多発テロ
	タリバンが多発テロ主犯格のビンラディンの引き渡しを拒否し、アメリカ空爆開始
	アフガニスタンをテロの温床にさせないために、欧米や日本がアフガニスタンを支援する 国際社会が合同し、多方面の支援が開始される
2021	米国大統領の宣言によって、米軍が役割を終え撤退する
8月	アフガニスタン前政権崩壊　⇒タリバン政権樹立

永年の治安悪化による市民の犠牲者数



UNAMA

2021年8月15日にタリバンが政権を掌握

タリバン復権後の変化　【治安】

- イスラム国（ISKP）によるテロは散発的に発生しているが、タリバン復権後は各地での戦闘は収束した
- イスラム法（シャリア）による取り締まりにより、治安が良くなった

タリバン復権後の変化　【賃金】

- タリバン復権後は失業者が急増し賃金水準も低下したが徐々に賃金水準は回復しつつある
- 最低賃金を導入

女性に関する報道

- 2023年4月3日
  停止を続けていた女子中等教育について、再開する方針を一転、
  タリバン強硬派の反対を受けて撤回

- 2023年4月6日
  国連機関で働く現地の女性職員に対し、出勤停止命令

- 2023年7月5日
  国内の全美容院に閉鎖命令
  NGOと国連で働く女性職員の出勤停止などの就労制限強化

タリバンに対する国際社会の要求と対応

【国際社会の要求】

- 女性や少数派を含む全アフガニスタン人の人権の擁護
- 再びテロの温床にならない

【国際社会の現在の対応】

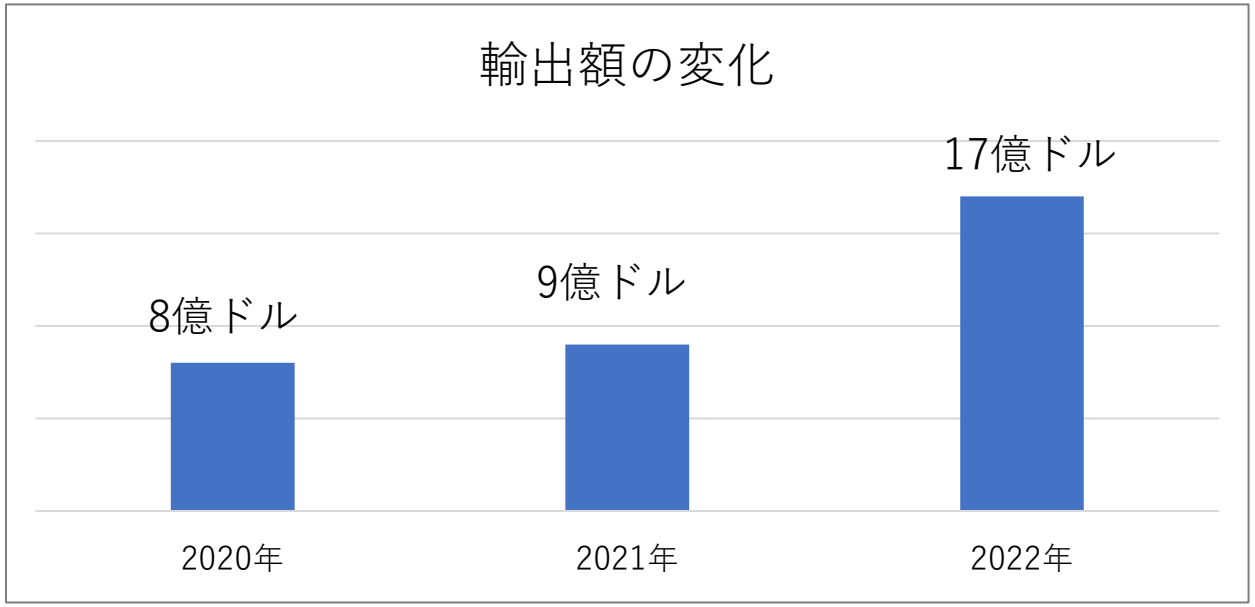
- 資金の凍結
- タリバン政府を承認しない
- タリバンへは直接の支援を行わない

タリバン復権後の変化　【貿易】

汚職が低下し、タリバンは国際貿易と投資を促進する政策を目指している。

・貿易振興のため、一部の輸出入品に対する関税を2022年に引き下げた

・カンダハール市では、民間病院や製薬工場も開業している



【輸出国】	パキスタン	65%
	インド	20%
【輸出品目】	野菜・くだもの	56%
	鉱産品	28%
	繊維	10%

出典：THE WORLD BANK “Afghanistan Economic monitor”　January 25 , 2023

食糧事情

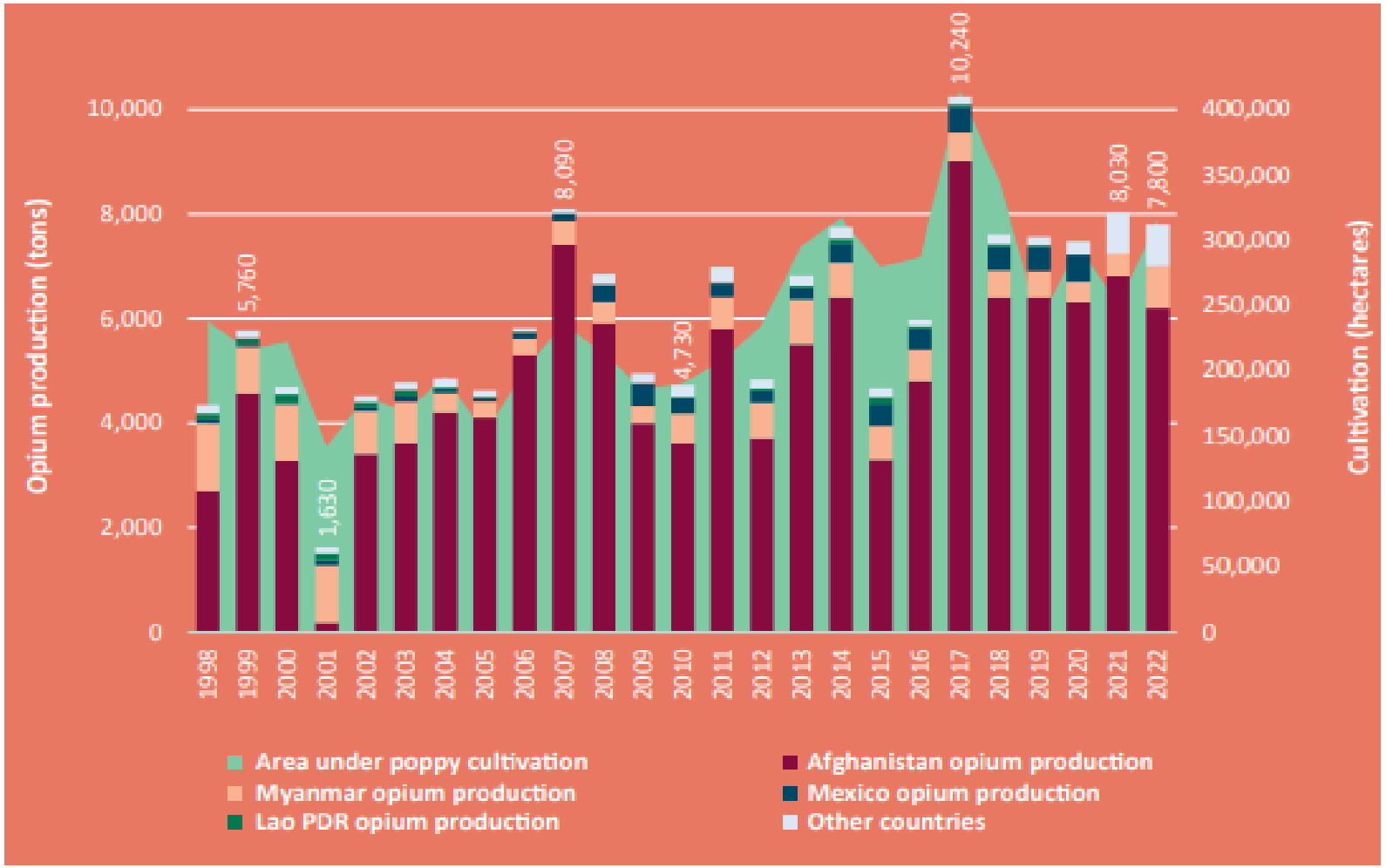
食料安全保障レベル「緊急事態」	610万人以上
深刻な食糧不足に直面している人数	2000万人（全人口の約50%）

出典：国連食糧計画（WFP）2023年３月14日報告
（WFP Afghanistan Situation Report）

- 一方で、多くの子供が労働や物乞いで家計を助けている

食事中に物乞いする子どもたち　2023年2月10日

世界のケシ栽培とアヘン生産



UNODC World Drug Report 2023 Executive Summary P32

2022年のアフガニスタンのアヘン製造は6200トンに達した。
これは世界の推定製造量の約80％に当たる。
しかし、アフガニスタンでは麻薬などの禁止が発表されたことを受け、23年には劇的に減少する可能性がある。

タリバン政権の最高指導者アクンザダ師は「アフガンの地から近く、ケシ栽培と麻薬が一掃される」と発表した。

農民は作物をケシから麦や米に切り替え、安定的な収入を得るまでの間の収入の保証をUNODC（国連麻薬犯罪事務所）が約束した。

以前はケシ畑だった農地が麦と野菜の畑に変わった

これによって、飢餓問題の改善が期待されている。

英国保守党議員がSNSに投稿

英国の保守党議員であるトビアス・エルウッド氏は、地雷除去慈善活動でアフガニスタン・ヘルマンド州を訪れた際のことを動画やツイート等で紹介し、以下を主張した

・アフガニスタンは変わった
・ケシ栽培とアヘン貿易がほとんど消滅した
・汚職が減少した
・治安が大幅に改善した
・アフガニスタンには変化がみられるので、英国大使館の再開を検討すべき
・4000万人のアフガニスタン人を見捨ててはならない

BBC News他

女性の生活

女性に対しては厳しい条件が課せられているが、ブルカをかぶらずに自由に町を歩き回る女性も見かけられている。

2023年2月16日　披露宴の一場面

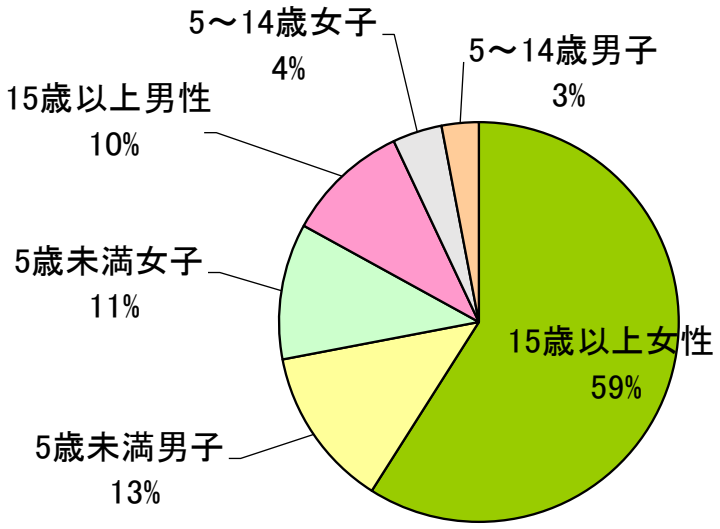
アフガニスタン・カンダハール州で活動している「カレーズの会」

カレーズとは現地の言葉で「地下水脈」のことです。また、「いのちの水脈」、「癒しの源」、「将来の夢」を意味しています。このカレーズのように、戦禍に苦しむアフガニスタンの人々に寄り添おうと、　カレーズの会は「医療」と「教育」を活動の柱としたアフガニスタン復興支援に取り組んでいます。（2002年発足）

【医療支援】カレーズの会の活動実績

患者数 （2002年8月～2022年12月）	男性　192,442人
	女性　533,166人
	計　725,608人
子どもの予防接種 （2006年9月～2022年12月）	248,083人 （BCG,ポリオ，混合接種，麻疹　他）
女性の破傷風予防接種 （2006年9月～2022年12月）	妊婦　19,236人
	非妊婦　43,844人
診療所の出産数 （2008年4月～2022年12月）	昼間　1612件
	夜間　1870件

診療患者の性別・年齢別構成



2002年8月～2022年12月

カレーズの会診療所の女性スタッフ

在宅勤務職員を含めて11名が勤務

カレーズの会

カレーズの会で行われているWFPによる食糧対策

（人）

	幼児向けの栄養補助食品配布数			母親向けスーパーシリアル配布数（1.5kg×5パック・1ヶ月分）
	総数	内訳		
		中度栄養不良児	重度栄養不良児	
2021年	1137	556	581	536
2022年	2,512	1,701	811	752

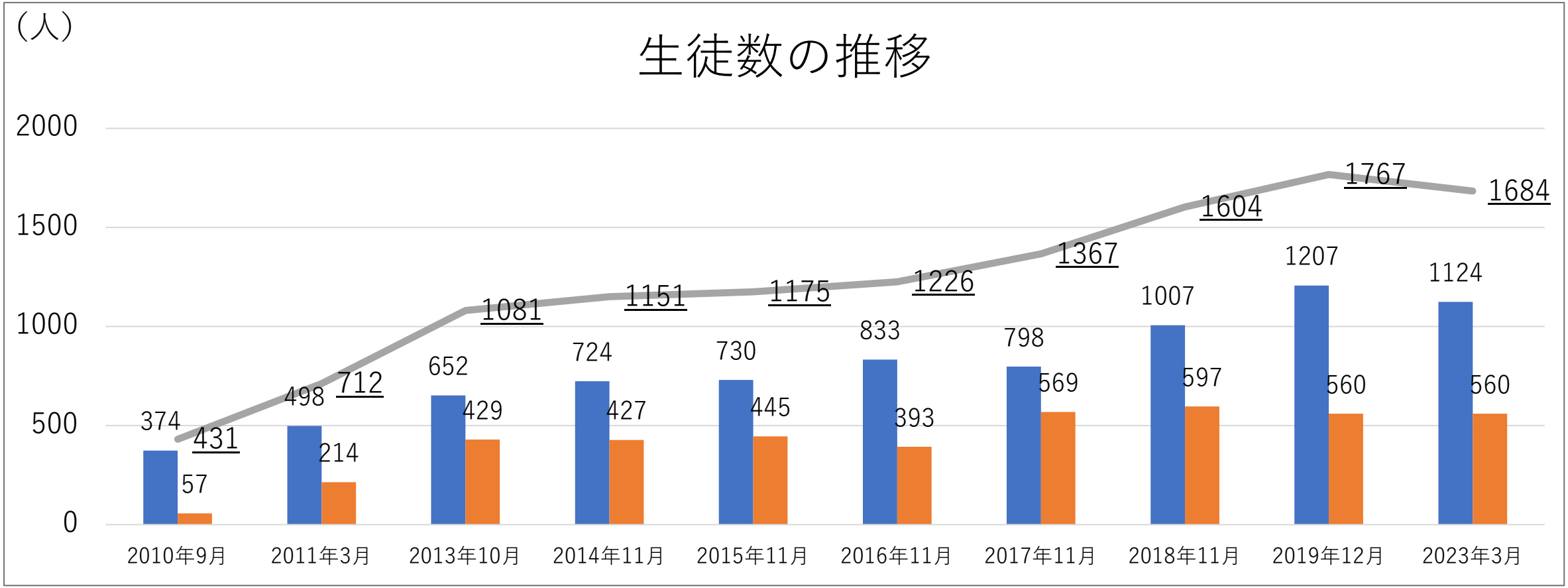
カレーズの会独自の食糧支援

【配布内容】

小麦・米・豆類・食用油など15kg

2021年夏より開始。1回40～60家庭に配布している。

【教育支援】ハジ・ニカ学校　生徒数の推移



男子１年生～１２年生　　女子１年生～６年生

教室で学ぶ子どもたち

教室が足りず、テントで
学ぶ子どもたち

まとめ

- 永年、外国からの支配と国際支援を受けていたアフガニスタンは、2021年8月にタリバンが政権を担うことになり、ほぼ全ての国際的な支援と関与が停止となった
- 多分野における国際支援の停止により、アフガニスタン国民が飢餓や医療サービスの低下に苦しんでいる一方で、タリバン政権による治安の改善、麻薬栽培の中止という多少明るい未来の夢も見らるようになってきた
- しかし、女性の権利および教育や労働の制限が国際社会から非難され、男女の統一した権利とその保持が今後の大きな課題である
- アフガニスタン国民の生活と権利を保護するためには、国際社会の積極的な支援とタリバン政権との対話や相互理解が不可欠である

ご清聴ありがとうございました